

ROYAL-TIMES

～ロイヤルホームの新しい生活～



写真=4F庭園の100日草(プロフェュジョン)

十五夜と敬老

小森 公美
2020年10月1日

入居者様と接する事は少ない事務員ですが時々お話する機会もあり、自分の祖母もこんな風に話していたかなと思出す事があります。

夜には辺り一面真っ黒になる私の田舎では、晴れた日には星も月もとてもよく見えました。それなのに十五夜にお月見をした記憶が全く無く、祖母が一度作った大福だけを鮮明に覚えているのです。多分祖母は何となく作ったのだと思いますが、本当に美味しかった事を何十年経った今でも覚えています。

「敬う」という言葉をまだ知らない頃の、祖母を尊敬していた一つの思い出でした。

今月は、十五夜のお饅頭は難しいので、ご入居者様が毎週楽しみにしているパン屋さんと、言語聴覚士のリハビリについてお伝えできればと思います。



9月のレク：散歩の動画レクの一場面

今回は金井にある薬師池公園を動画で紹介いたしました。



1F正面玄関にてパンを販売している様子(9月19日 13:00頃)

土曜日は、パン屋さん

石井 太一
2020年9月27日

季節が秋に移り変わり、皆様いかがお過ごしでしょうか。ロイヤルホーム周辺も鈴虫の鳴き声が心地よく響き渡っております。

今月は、パン屋さんの「エッセン」の特集です。毎週土曜日の14時頃に、横浜市は緑区よりエッセンの移動販売車がホームにやっ来てまいります。週末のイベントとして、ご入居者様は今か今かと心待ちにされており好評を頂いております。

各フロアのスタッフが、ご入居者様をご案内させて頂きながら、1F正面玄関前のエッセンにご来店です。屋外である為、「密」を未然に防ぐ事が出来ます。店頭には、職人さんが手作りで仕上げた様々なレパートリーのパンが並んでいます。食パンやバゲットといったオーソドックスなものから、具沢山の惣菜が入ったサンドウィッチやお食

事パン、楽しみが膨らむ菓子パンやスイーツもございます。

ご入居者様が店頭まで出向かれ、ご自身で商品を選び、買い物を楽しまれる様子は、非常にいきいきとした表情が見られ、活動度の向上となり、皆様が笑顔になれるひとときとなっております。

介護を必要とされる方にとって、買い物は最も早くに低下する日常生活活動とされており、長い療養生活を経て、エッセンを訪れたご入居者様は、「久しぶりに買い物ができた」と喜んで下さいます。日々の体調変化により、来店が難しいご入居者様には、スタッフが事前にご希望の商品をお聴きして、代行させて頂いております。

買い物後に話を聴いた、ご入居者様のおひとりは「卵の入ったクロワッサンサンドとクッキーを毎週買うのが楽しみ」と笑顔でおっしゃって下さいました。

今後もロイヤルホームの日常生活における「楽しみ」をお伝えしてまいりますのでご期待ください。

今月のトピック

・食事とリハビリテーション

・スタッフ紹介

・委員会活動報告(教育委員会)

食事とリハビリテーション

前原 咲奈
2020年10月4日

お食事は、ご入居されている皆様の楽しみの一つだと思います。この食事を美味しく安全に摂れる様に、サポートしてくれるスタッフとして言語聴覚士がいます。介護士と連携し、コミュニケーションが困難になったり、食べ物をうまく摂れなくなったりと、日々変化する毎日を、介護士同様に支えています。

嚥下リハビリテーションを受けていらっしゃるご入居者様の中には、ご自身で意思を伝達できない方も少なくありません。しかし、リハビリの時だけゼリーやコーヒーを摂取されている様子を拝見すると、どこか満足そうにされているように見えます。

その一方で、年齢とともに誤嚥と肺炎のリスクが増す事を考えると、嚥下リハビリテーションが単に食に対する欲求を満たすだけのものではないのだと実感しました。肺炎が日本人の死因第3位になっている現在、嚥下機能を維持する事がいかに大切かという事を改めて実感しました。

言語聴覚士は「食^{食べ}べても肺炎、食べなくても肺炎」をいかに減らせるか、が難しく他職種とのチームワークやご本人様・ご家族様のご理解が不可欠ですと語ってくれました。私たちは、食に関する欲求を満たす事にとらわれがちですが、嚥下リハビリテーションの目標はさらに深いところにあるのだと改めて学びました。



写真：言語聴覚士による嚥下リハビリテーション



写真：9月の特別食 湯葉入りコンソメスープ、チーズイン煮込みハンバーグ、有機野菜と海藻のサラダ、冬瓜のカニ入りくずあんかけ、フルーツカクテルのヨーグルト和え

スタッフ紹介

2020年9月20日



振り返り

岡 聖史
2020年9月19日

夏が過ぎると台風の手頃ですが、年々被害が大きくなり、多くなっています。加えて地震も以前に比べると頻繁になり、日本人の心はなかなか休まりません。そんな中、次の総理大臣が決まり、世の中の期待が高まっているように感じます。もっとこうしてほしい、こうしてくれたら、と責任ある人物への期待はどの社会においても高いようです。しかし、自分がこうすれば、自分がこれを直せば、といった自分の行動を見直すことの方がネガティブな結果を回避できるのではないかと思います。国の舵取りに対しての自責は選挙で投票するのみですが、日々の介護に關しての自責はより多く、大きなものであり、入居者様の心休まる時を作るのもまた個人だと思いました。



お知らせ

10月より、訪問マッサージを部分的に再開いたしました。ご入居者様にはサービスの中止期間が長くなってしまったこと、お詫び猛威上げます。順次再開の予定でございます。しかし、COVID-19の状況により再度中止させていただく可能性もございます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

写真：あおぞら訪問マッサージ 院長 古賀 渉

委員会活動報告（教育委員会）

金井健一
2020年9月21日

教育委員会では、新人職員の指導計画・指導管理、職員に対する研修の計画・実施、職員の評価制度の策定や、職員の採用活動などを行っています。

新人職員については、指導計画に基づき、定期的な面談をしながら、一日も早くご入居者様に貢献できる、またロイヤルホームの大切な職員の一人となってもらえるようフォローしております。研修に関しては、年間で実施計画を立案しております。コロナ禍の中での開催の為、Youtube動画等を使った研修を行い、職員が密にならないよう

に配慮しながら行っています。職員の評価については、先日、介護職員特定加算やコロナ禍における介護慰労金について、その方向性を協議しながらすすめました。これからも職員のレベルアップやケアの統一化を図りながら、入居者様に対して、質の良いケアが提供できるよう努めてまいります。